

議会報告会報告書

令和5年2月27日

大竹市議会

議長 賀屋 幸治 様

B班

班長 児玉 朋也

議会報告会の実施状況について、次のとおり報告します。

1 開催日時

令和5年2月4日（土） 19時から20時30分

2 開催場所

アゼリアおおたけ

3 参加人数

22人

4 担当班議員名

班 長 児玉 朋也

副班長 小田上 尚典

班 員 西村 一啓

原田 孝徳

藤川 和弘

5 報告会次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議会からの報告

① 上下水道料金の改定について

② 議員定数について

(3) 意見交換

① 新町雨水排水ポンプ場について

(4) その他のご意見

(5) 閉会あいさつ

6 議会からの報告についての主な質疑応答

(回答した質疑)

Q：市の自己水と県水と質の差はあるのか？

A：濾過方法などが異なるため、質に差はあるがどちらも基準内であり、安心して使っていただけの品質になっている。

Q：水道料金が県内で一番安い理由は？

A：様々な歴史的な背景があるが、旧日本軍などが上水の管を整備していたことにより、新規で上水を整備していく費用が抑えられたことが要因となっている。

(意見・要望等)

- ・他市との水道料金を比較して説明してほしい

7 主な意見交換 「新町雨水排水ポンプ場について」

(回答した質問)

Q：ポンプ場の整備についてポンプ場・出口・道路など順番や優先順位はあるのか？

A：都市計画決定された内容で現状、進めている。その中で、出口については国との交渉が進んでいる。

Q：他市の事例でポンプ場にこだわらない内水対策を講じることはできないのか？

A：パネル型の土のうなどを取り入れているが、数や設置方法に限りがあるので局地的な対策に留まっている。

Q：土地の買収など今の計画について市はどのくらい展望をもっているのか。

A：市としては人命を守ることに重きを置いているので、進捗が遅い印象があるかもしれない。行政としては時間がかかっても着実にやっていくという思いをもっていると感じる。

(要望・意見)

- ・ポンプ場以外の方法でも良いので、目に見える形でも内水対策をしてほしい。
- ・他の水路へ排水していけるように考えてほしい

8 気付きや反省点

- ・水道料金については他市との比較など分かりやすく図示できればよいと感じた。
- ・執行部へ伝達する事項や回答が難しいものについては司会がまとめてその場で伝えるなどの方法が必要と感じた。
- ・水道料金と議員定数の報告について文章量が大きく違ったので、報告を聞かれている方に分かりづらくなっているように感じた。